

その霊、わたしたちの霊と共に

聖書：ローマ 8:16. I コリント 6:17

I. 神の霊は手順を経ました。そしてわたしたちの霊も手順を経ました：

- A. 「その霊」という言葉は、単に神の霊を指しているだけでなく、究極的に完成された霊、すなわち、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活という手順を経た経た霊を指しています。復活の中でキリストの栄光が現された後、キリストは命を与える霊、すなわち、「その霊」、究極的に完成された霊と成りました——ヨハネ 7:39. ルカ 24:26. I コリント 15:45 後半。
- B. わたしたちの霊は神によって創造されました（創 2:7. 箴 20:27）。しかし、アダムを通して、それは墮落し、死んでしまいました（エペソ 2:1）。しかしながら、わたしたちの死んだ霊は、キリストによって贖われました。わたしたちの霊は、贖われたので、わたしたちを再生したその霊によって生き返らされ、生かされました（ローマ 8:10）。
- C. わたしたちが、「その霊、わたしたちの霊と共に」と言うとき（16 節）、その意味は、究極的に完成された霊が、信者たちの創造され再生された霊と共にあり、またその中にあるということです。

II. 「その霊……わたしたちの霊と共に」（16 節）は、神の有機的な救いの秘訣です。これら二つの霊が共に働くことは、すべての霊的事柄、特に神の有機的な救いの各面の巧みさ、秘訣です：

- A. 生み出す霊は、キリストによって生き返らされたわたしたちの霊の中で、わたしたちを再生し、わたしたちに権威を与えて、神から生まれた神の子供たちとならせます——ヨハネ 3:6. 1:12-13. ローマ 8:10。
- B. 養う霊は、キリストによってはぐぐまれたわたしたちの霊の中で、言葉の中の霊的な乳をもってわたしたちを養います。それは、わたしたちが成長して、救いへと至るためです——エペソ 5:29. I コリント 3:2, 6. I ペテロ 2:2-3。
- C. 聖別する霊は、キリストによって捕らえられたわたしたちの霊から、神の性質をもってわたしたちを聖別し、わたしたちを聖とならせ、神へと帰します——エペソ 1:4. 5:26-27. I テサロニケ 5:23. II テサロニケ 2:13. ローマ 6:19, 22. 参照、II コリント 2:12-14。
- D. 更新する霊は、キリストが内住しているわたしたちの霊の中で、わたしたちを更新します。それはわたしたちが、十字架の砕きを通して新しい人を着るためです——エペソ 4:23-24. テトス 3:5. II テモテ 4:22。
- E. 造り変える霊は、キリストによって満たされているわたしたちの霊の中で、わたしたちをキリストの栄光のかたちへと造り変え、彼の表現とならせます——II コリント 3:18. ローマ 12:2. エペソ 5:18。
- F. 建造する霊は、キリストによって所有されているわたしたちの霊の中で、わたしたちを建造して、神の家またキリストのからだとならせ、彼ら（神格）の住まいとします——2:21-22. 4:16。

- G. 円熟させる霊は、キリストをもって豊かにされているわたしたちの霊の中で、神の子たちの原型である神の長子キリストのかたちへとわたしたちを同形化します——ローマ 8:28-29. ペリピ 1:19。
- H. 証印を押す霊は、キリストと共に歓喜するわたしたちの霊の中で、神の栄光をもってわたしたちに浸透し、そして神の栄光の中へとわたしたちをもたらし、わたしたちを栄光化します——エペソ 1:13. 4:4, 30. II コリント 1:22. ローマ 5:2。
- I. 以上の各段階は、「その霊（が）……わたしたちの霊と共に」（8:16）結合して、「一つ霊」（I コリント 6:17）になることによって達成されます。もしそうでなければ、たとえ神の福音が力強くあったとしても（ローマ 1:16）、それは何の力も持たず、また信者たちの中で何も達成せず、彼らを神格においてではなく命と性質において神とならせて、キリストのからだを建造することもないでしょう。それは、三一の神の永遠の心の願いであり、また彼の究極的な定められた御旨です（マタイ 16:18. エペソ 1:9. 4:16）。
- J. キリストがわたしたちの中で生きることができるのは、彼がわたしたちの霊の中でその霊であることによってです。わたしたちの霊の中のその霊によってのみ、パウロの完成する務めの中のすべての重要な点は効力を持ちます。

III. 聖書の中で、その霊に関する啓示は漸進的です：

- A. その霊は最初に、創造との関係において、神の霊として述べられています（創 1:2）。次に、神と人との関係において、エホバの霊として述べられています（士 3:10. サムエル上 10:6）。キリストの胎に入ることと誕生との関係においては、聖霊です（ルカ 1:35. マタイ 1:20）。主の人としての生活との関係においては、イエスの霊です（使徒 16:7）。主の復活との関係においては、キリストの霊です（ローマ 8:9）。そして、イエス・キリストの霊です（ペリピ 1:19）。
- B. イエス・キリストの霊は、ヨハネ第 7 章 39 節で述べられている「その霊」です。これは、主が肉体と成る前の神の霊であるだけでなく、主が復活した後の神の霊、すなわち、神性を持つ聖霊です。それは、主の肉体と成ること（人性）、十字架の下での人としての生活、十字架、復活をもって構成されています：
1. 出エジプト第 30 章 23 節から 25 節にある聖なる塗り油、すなわち、オリーブ油と四種類の香料から成る複合物は、複合の神の霊の完全な予表であり、この霊は今やイエス・キリストの霊です。
 2. ペリピ第 1 章 19 節では、それはイエスの霊（使徒 16:7）ではなく、あるいはキリストの霊（ローマ 8:9）でもなく、イエス・キリストの霊です：
 - a. イエスの霊は、主の人性また人の生活とおもに関係があります。キリストの霊は、主の復活とおもに関係があります。
 - b. 主の人性を経験するためには、ペリピ第 2 章 5 節から 8 節で描写されているように、わたしたちはイエスの霊を必要とします。
 - c. 主の復活を経験するためには、第 3 章 10 で述べられているように、わたしたちはキリストの霊を必要とします。
 - d. 使徒パウロは彼の苦難の中で、主の人性の中の苦難と主の復活との両方を経験しました。このゆえに、彼にとってその霊は、イエス・キリストの霊、すなわ

ち、三一の神の複合の、すべてを含む、命を与える霊でした。

e. 使徒のように、キリストの人としての生活と復活を経験し享受している人にとって、そのような霊は、満ちあふれる供給を持っており、また満ちあふれる供給でさえあります。

3. 最終的に、この複合のイエス・キリストの霊は、神の七つの霊となります。彼は、神の御座の前の七つのともし火であり、地上における神の行政を遂行し、召会に関する神のエコノミーを達成します。また彼は小羊の七つの目であり、彼であるすべてを召会の中へと伝達します——啓 1:4. 4:5. 5:6。

IV. 「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを、証ししてくださいませ」(ローマ 8:16)。「主に結合される者は、主と一つ霊になります」(I コリント 6:17)：

A. 主に「結合」されて一つ霊になることは、信者たちが主の中へと信じることを通して持つ主との有機的結合を指しています(ヨハネ 3:15-16. 参照、II テモテ 4:22. II コリント 3:17)。この結合は、枝とぶどうの木との結合によって例証されています(ヨハネ 15:4-5)：

1. 主と一つ霊になることを宣べ伝えることは、パウロの完成する務めの究極的な点です。

2. 霊にしたがって歩くことと、わたしたちの思いを霊に付けることは、主と一つ霊になることを実行することです——ローマ 8:4, 6。

B. その霊は今や、わたしたちの再生された霊の中に住んでおり、またわたしたちの霊と結合されて一つ霊になっています：

1. わたしたちは自分の全存在をこの結合された霊に向け、また付けるべきです——6 節後半。

2. わたしたちはまた、この結合された霊にしたがって生き、歩くべきです——4 節。

3. わたしたちはこのようにしてこの結合された霊の中で生きるとき、キリストのからだを生かし出して、キリストの団体の表現とならせることができます——エペソ 1:23。